



5月24日、新宿区の四谷区民ホールにおいてチュムパンの会の発表会が行われます。会が発足しておよそ十年になるのですが、今回が初めての発表会です。

いよいよ近づいてきました、すでに踊る曲は決まっています。趙寿玉―はい。全部で11曲踊る予定です。今までに練習してきた曲は倍くらいあるので、全てを全員が踊れるわけではありません。当然、習いだして間もない人は、できる曲も限られます。しかし、私たちの教室なりに、バラエティに富んだ、韓国舞踊を少しでも紹介できるものになれば、と考えています。

―演目や順番をどのように決められたのですか。

趙寿玉―たとえば、五方舞は、

発表会に向けて

ムーダン(巫女)の用いるリズムをいくつか使います。そこで、そのリズムや音楽の力を借りて場を清め、ひとりひとりがつつがなく踊れるように、踊りの神様に出てきて見守ってもらいたい、そんな思いをこめてこの曲を最初の曲にしました。

―ひとつひとつの踊りにいろんな意味やこだわりがあるのですね。

趙寿玉―現在残っている宮廷舞踊の中でも一番歴史が古い剣舞では、自然で美しい所作と、間や余裕のとり方。民謡では、軽さ、楽しさ、遊び心。同じ打楽器を使った踊りでも、三面太鼓では脈が上がるような感覚を、杖鼓舞では「態(テエ)*1」を味わっていただけにと。また韓国舞踊は、普段は動きや感情を抑制する事が多いのですが、固城五広大の基本舞では、それらを抑えずに逆に爆発させます。

―それから、ゲストの方につ

いても教えて下さい。

趙寿玉―韓国から河万鎬先生に来ていただき、固城五広大の中のマルトウギを踊っていただきます。先生は韓国重要無形文化財第7号に指定されている固城五広大の履修者でもいらつしゃいます。他の地方の仮面劇と違い、固城五広大は台詞よりチュムの部分が多いのですが、先生の踊られる姿は、ある時は鶴に見えた



りする程、気の流れや姿かたちが美しいんです。

―ポソンだけを見せる場面もあるそうですが。

趙寿玉―そうなんです。以前スペイン舞踊のラファエル・アマルゴの公演をみたとき、カーテンを少し上げて足だけの動きを見せていたんです。韓国舞踊は、ある意味「ポソンバリ・イエツポヤジ*2」の一言に尽きるもので、いつか使いたいと...でもまだ未定なんです。

―発表会当日にむけて、まだまだこれから、という感じですね。

趙寿玉―ああもう、まだ何もできていないと同じだと思っっています。私は本来、韓国舞踊を踊ることは個人的なことだと考えています。でも発表会となると、また話は別ですよ。おさらい会とは違い、自分の中で完結すれば良いというものではありません。足を運んでくださる方も大勢いるし、たくさんの方に助けて



もらったり迷惑をかけたらしなければ成り立ちません。なにより、複数の人で一つの作品、一つの会を作り上げていく訳ですから、それはもう普段味わえない緊張感や摩擦も生じるし、思わぬエネルギーや気、ヒントなどをもらったり、あるいはその反対も...。発表会って公演とは確かに違いますけど、個人にとっても特別な一日ですし、他者に向けて何かを発することができる一日になればよいなあ、と願っています。

聞き手・柏木美奈

*1 態・振り、仕草。

*2 ポソンバリ・イエツポヤジ...ポソンを履いた足の見目形が重要と言うこと。会報の3号で特集しています。

開演前のひびき

李貞恵

突然訪れる残忍な現実は何の意欲もなく、練習着を倉庫に閉まつた事が何度あつたか。私のすぐ減びそうな弱い心と体を、先生とみんなが暖かく支えて励まして下さったのです。欲望と情熱だけはまだ衰えてないし、衰えてはいけないと感じる、発表会の為の練習過程でした。先生、みなさま、心からカムサハムニダ。

井上愛彩

1月、地域のお祭りで扇の舞を踊った。後日、録画された自分の姿を見て愕然。下手だと分かっているつもりだったけれど、予想よりずっとギクシャクしていた。下手であつ



ても、音楽やその場の空気に乗って動けた時、私自身はとも楽しい。それだけでも、舞踊を始めて良かったなと思う。でも、発表会には見に来てくれる人がいる。本番まで地道に練習して、せめて丁寧

に踊ろう。そして今のわたしに可能な限り、美しく踊りたい。

林鮮玉

私は今回、剣舞、チャンゴチュム、サルプリ舞を踊ります。不器用な私が何故踊り始めたのか……。

軽い気持ちで始めた韓国舞踊でしたが、いつの間にか夢中になり今では生活の一部になつていきます。幼い頃、目にしていたハラポジ、ハルモニの様

柏木美奈

何度教わってもできない苦しみすら楽しいのです。韓国舞踊は素晴らしいので、教

習いはじめて二年。何もできないけれど、全力で頑張ります。

加藤多美

消極的な気持ちで始まつた発表会への準備。練習を重ね



るうちに、漸く覚悟が固まつてきました。まだまだテンテゴ舞ですが、少しでも香になる様、前進あるのみです。

康明心

「扇の舞」では、地上へ東の間おりてきて舞う天女のよう

金香清

散調舞を踊る前、正面から横を向いて立つて準備をした後、音楽のプロローグである砧の音が「タタタタ」と流れると、心臓がキューっとなる。骨の髄が縮こまる。

練習でさえこんなありさま。舞台ではどうなってしまうの

けで「キュー」つとなつてしまった。「緊張」はしても「あがる」となく踊りたい。そのためは練習を重ねるしかないの

金政

私にとつて「踊る」ことは個人的作業です。私だけの為の全く自己満足の世界です。そして其れの何と心地良いことか。この度、その心地良さは対極にあると思われる過酷な挑みを自分自身に課しました。舞台で第三者に踊りを観ていただくとういうのです。そこに生じる責任、焦燥、挫折妥協との葛藤等等……。本番の舞台では、何とかそれらに乗越え純粋に踊る喜びを感じて

小菅優子

発表会のために初めてあつらえたチマチヨゴリをお披露目できるのが楽しみです。衣装に負けないよう、この5年半に習ってきたすべてを出し切りたいと思います。プチェチュムと散調チームのみんな、私たちにできる最高の舞台にしましょう！

辛錦玉

韓国舞踊を習い始めて五年になります。若い頃朝鮮舞踊をしていましたが、子育てや仕事に追われ仕方なく私の中で舞踊を封印してきました。子供も大きくなり少し時間の余裕ができた頃、趙先生の教

室を訪ねいちから韓国舞踊を教えていただき、また踊れる喜びと幸せに浸りながら初心忘れず一生懸命レッスンに励んでいきます。元気な体で仲間と一緒に発表会の舞台上に立てる事、感謝の気持ちでいっぱい

関口竹子

舞の心得を問うてみたが、はてどうしよう。体も手も足までが、どの子も主の指令を聞かぬ。ばらばらか、動かぬ。本番の日まであと何日なの、もう一歩がなかなか。でもでもその日には精一杯の微笑で応援に来てくれた友人に、ありがとうの言葉の舞にはげもう。みんな助けてね。練習、れんしゅうかな。そうだ、年のせいにして

高橋和子

韓国舞踊を一昨年の六月から習い始め、五月の発表会は私にとつてちょうど満二年に



なりません。

会では、「ノードウル江辺」を五人で踊る予定です。韓国の人にはとても有名な曲とかで、当日いらつしやるお客様の中には、メロディーや歌詞に馴染みがあり口ずさめる方も少なくないと思われま

す。これから残すところ三ヶ月のお稽古を一回々本番と思つて真剣に受け、皆様に楽しんで頂けるよう、また打ち上げでも美味しいビールが飲めるよう自分なりのベストを目指して行きたいと思つています。

趙昌代

韓国特有のカラツ、チャンドンを解し、かつこよく踊れたらと思ひ、始めた舞踊だが、自分の実力よりも、常に何歩も先を要求され、「えっ、そ、そんな・・・」と思ひながらの10年だった。決して妥協しない師の要求度の高さを、今回の発表会で上手く表現できると良いのだが。

師の、韓国舞踊に対する情熱は、誰にも超える事は出来ないが、これからも師の背中を見失うことなく、時には急ぎ足で、時には遠回りもしながら、追いかけて行こうと思う。

趙富子

ジタバタしている！発表会は目の前に迫っているのに、落ち込んでる時間は無いのに。本番、当日は頭は真っ白、胸はドキドキ、膝はガクガク、にならないようしたい。

生き生きと楽しく、涼やかに



に踊り切れればと願っている。そして、みに来てくださった皆様の中に少しでも届けられたいとの想いがある。

私達は今、お互い励まし、教えあいながら体に染み込むように練習するしかない。みんなガンバろう！

中根梨花

先日いつもの様に鏡の前に立ち踊る準備をしていた。何の前触れもなくデツキから李明姫先生の朗々たる歌声が流れ出した。私はガツンと何かとてつもなく大きな力で全身を殴られた感覚を覚えた。애가아아といつもの歌詞と同時に身体が流れるように動いた感覚がした。血が騒ぐ！血湧肉踊るといふ感覚が込み上がった。間違いなく私の身体を流れる韓国朝鮮の血であろう。カンガンスルレで皆様の上を歩く大役を頂き自分へのチャレンジと課し体重を8kg落と

しました。余分な物を削ぎ落とし身も心も軽く、韓国朝鮮の血の確認を胸に発表会にと挑みたいと思ひます。チュムパンの会との出会いに感謝いたします。

朴信江

韓国舞踊を習つて10年以上になると言う時、そんなに続けられる魅力は？とよく聞かれます。百の言葉より、実際に見て貰えれば伝わる物があるかしら。伝えられる踊りが踊れるかしら、と考えています。「踊りにはその人の全てが見える」寿玉先生の言葉を胸に刻み、5年後、10年後自分がどんな踊りを踊るのか見てみよう、そう思ひ今日まで続けて来ました。発表会はその評価が下される日、無心に精一杯踊りたいと思ひます。

朴芳江

趙先生に韓国舞踊をご指導願ひ三年の月日が流れました。ようやく古典舞踊たる物事が少しずつ身に付き躰で表現が出来た様な気がして来ました。手先で踊るのではなく、躰の中心から流れる気を吐きながら、腹式呼吸がいかに大事か、つくづく思ひ知りました。初の発表会に向け数年前に左足捻挫が思うように治らず、針灸、指圧、サポータ等々、ケアをしながらレッスンを励んでいる今日この頃です。きつと踊る事が好きなんですよネ！

我ながら苦笑です。

箱崎真奈美

何もかも「初めて」尽くしの発表会です。そんな中、寿玉先生のご指導を仰ぎながらみんな練習を重ねてきました。パンフレットを始め、様々な事について自分たちで決定したり進めてまいりました。

会場に足を運んでいただいた方に「見に来て良かった」と感じていただける舞台をお届けできるよう、頑張りま

橋本幸子

朝鮮半島の南に位置する、固城この地に脈々と舞い継がれてきた「固城五広大」固城に生きる人々に想いを馳せて踊りたいと思ひます。

宮崎節子

チュムパンの仲間と発表会が出来ると夢のようです。本当。皆忙しい中、自分の出た作品を身体にたたきこむ、長短(リズム)を、身振りを



たたきこむ、周りの仲間が、先輩の声がようしやなく稽古場に響く。「腰をしつかりしめて、手だけで踊らない！」

今の世の中遠慮なく本気で叱咤激励する関係：：なかなかないよね。それにめげない皆も私もえらい。「やるっきゃないよね」、全開、開進！

森真理

正月も過ぎ、ひな祭りも過ぎ、三寒四温で水がぬるむ頃も過ぎ、明日が発表会という夢を何度となく見えています。心配している時間があるのならその時間も練習に切り変えようと思ひ直して、一回、一回を正に、時の一期一会だと考えて、練習を大切に重ねて行きたいと思ひます。

矢野陽子

なんと空恐ろしいことを私は考えてしまったのだろう。韓国舞踊で舞台上に立とうとしている。私のまわりの人達はその話を聞くと一様に「ひえっ」とのけぞる。みんなには悪いけど、時々世の中には信じられないことも起きるのだ。しかし、しかし、少なくとも一緒に踊るみんなには迷惑かけたくない。同じ方向に進み同じ手を上げようと心に決めてはいるのだが。ああ！五月二十四日が近づいてくるウ。

一期一会

言葉語り・椿座 以倉 いずみ

この原稿のお話を頂いた時、趙寿玉さんは、「私に気を遣わないで昨春秋の『花弦草』と『灌頂』のことを」とおっしゃいました。

私の中で、趙寿玉さんは、その二公演のこのみならず、

昨年の総ての出来事の中でも、特に衝撃的でしたので、

「気を遣わないで」というお言葉に甘えて、趙寿玉さんのことだけを書かせて頂きたいと思えます。

『花弦草』『灌頂』を思い出す時、あれは夢の中で起こったことだったのではないかと、いうような錯覚に陥ります。

舞台となった『花弦草』の国立博物館裏の応挙館。『灌頂』の代々木能舞台内の敷舞台の

非日常性もさることながら、その理由から寿玉さんを除くことはできません。

今でもそれを目の当たりにしたときの感覚が呼び起こされ、ドキドキしてしまうのですが、寿玉さんが舞われ出すとたちまち辺りが薄い金色に染まっていくように思えたのです。

特に『灌頂』では、私たち椿座は舞われる寿玉さんを囲むように座っていたので、

空気がみるみる色づいていく様子がはつきりと感じられました。『花弦草』の時も、ある瞬間、寿玉さんの体中から金の粉のようなものが立ち上るのが見えたように思ったのですが、

演者側の立場でしっかりと確認することもできず、私のファンタジーな部分の産物かもしれない、と、胸にしまっておきました。しかし、それが『灌頂』での経験で、私の中で寿玉さんは、間違いなく奇跡にな

りました。

『灌頂』では「大原御幸」を舞った寿玉さんですが、生きながら六道を輪廻した建礼門院平徳子を舞うと共に、御霊を救い出そうとするような舞にも見え、慈愛にみちた、なんとも言えず温かな気持ちになる光でした。その光の中にある内に、私もまた救われるような心地になりました。

昨年、私は十年の役者「修行」生活に終止符を打ち、東京から故郷のある兵庫に帰ってきました。二十代の大半を過ごした東京。様々な思い出、喜び、後悔、かけがえのない友人たちや、そして演劇への思い…。思いに潰されないように後ろをふりむくまいと、頑張っ頑張っ、頑張っ、頑張っ、心がむちうちみたいになって動かなくなっていました。しかし、『灌頂』の舞台上で、すーっと心が解放されていったのです。おいで下さったお客様それぞれのけのお話で申し訳ありません。でもきつと共感してくださる方は多いはず。私にとつてこの二公演は、大きな財産となりました。

◎活動報告

◎ 2007年12月4日(火)

アジア芸術祭に出演

韓国 国立国楽院 大ホールにて

演目 中国琵琶による「イ族」(曲名)に合わせて踊る

◎ 2007年12月15日(土)

ビック東海CATV事業部新社屋竣工記念謝恩イベント

「宮廷女官チャングムの誓い」先行特別試写会&韓国

舞踊鑑賞会

静岡 ブケ東海 プライイトンホールにて

演目 舞鼓、ソゴチュム、五方舞

◎今後の予定

お問い合わせはチュムパンの会事務局へ 03-3269-3258 趙富子

◎ 2008年4月19日(土)

LaLa TV チャングム放送記念

「宮廷女官チャングムの誓い」先行特別試写会&韓国

舞踊鑑賞会に出演

富山県魚津市 ホテルグランミラージュ 天翔にて

◎ 2008年5月24日(土)

チュムパンの会舞踊発表会開催

四谷区民ホールにて

◎ 2008年6月21日(土)

「つながる歌 つながる舞 つながるいのち」戦争と

女性の人権博物館建設のためのチャリティーコンサ

ト」に出演

大阪 天満橋エル大阪 エルシアターにて

共演者・安聖民(パンソリ)李政美(歌)

問い合わせ・つながるコンサート実行委員会・大阪大

学付属病院看護師労働組合 080-6188-0453

◎ 2008年7月25日(金)、26日(土)

INTER MUSIC FESTIVAL 2008 原野の詩詩と音

楽の夕べ(仮題)に出演

東京 Rs Art Court 21p

会報継続支援のために寄付して下さい下さった方々

會田健一、医療法人明和会、李暎俊、匿名希望の方一名。以上順不同、敬称略です。お陰様で今年も年四回出すことが出来ます。会員一同お礼申し上げます。

